

宇都宮市立海道小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○本校が行っている各教科での話し合い学習の推進に関する6問の質問中4問で昨年度の肯定的回答割合を10ポイント以上上回った。話し合いのルールや理由や根拠に基づいて話すこと、友達の意見を最後まで聞くことを指導してきた成果が表れている。今後は、全体での話し合いの場で教師の適切なコーディネートにより児童の間で意見交換ができるレベルを目指して指導していきたい。

○家庭での学習に関する7問の質問中5問と「算数の学習は好きですか」の質問において、肯定的回答割合が県と比べて5ポイント以上上回った。保護者と担任が連携して家庭学習を推進してきたこと、学力向上専門員のアドバイスのもと話し合い学習を取り入れた算数の授業を展開してきたことの結果であると考えられる。

●「家の人と学校のできごとについて話をしている。」「自分には、よいところがある。」「自分はクラスの人の役に立っていると思う。」「誰に対しても思いやりの心をもって接している。」という質問において昨年に続いて肯定的回答割合が県と比べて10ポイント以上上回っている。個々の活躍の場を増やし、自己有用感を高めることで、一人一人の児童に自信をもたせていきたい。

宇都宮市立海道小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
授業における本時のめあての提示	授業の始めに本時のめあてを掲げて授業を開始する。	4・5年生ともに「授業では、授業の目標(めあて・ねらい)が示されている。」の質問に9割を超える児童が肯定的に回答し、県と比べて5ポイント以上高い。
授業における振り返り活動の徹底	授業の終わりに本時のめあてにそった振り返り活動を行う。	4・5年生ともに「授業の最後に学習したことを振り返る活動をよく行っている。」の肯定割合は4年生が65.8%、5年生が56.3%で、県と比べて4年生が3.7ポイント、5年生が18.3ポイント低い。5年生の肯定的な回答が昨年度より10ポイント以上低い。
家庭学習の習慣化	3・4年生は1日40分、5・6年生は1日60分以上を行う。家庭学習は自主学習と宿題とし、自主学習は毎日提出差せ、宿題は教師が土日を除いて復習の内容を配布する。	4・5年生ともに「学校の授業時間以外に普段、1日当たりどのくらい勉強していますか」の質問に60分以上と回答した児童の割合は4年生が86.8%、5年生が81.2%で、どちらも県と比べて20ポイント以上高い。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「わからない国名や地名があったらインターネットや地図等で調べている。」の質問に対して肯定的な回答をした児童は4年生が34.2%、5年生が37.5%で、どちらも県と比べて10ポイント以上低い。	インターネットを積極的に活用した調べ学習の実践	インターネットの使用法を理解させ、国語や社会、理科や総合的な学習の時間で調べ学習を行う際に活用できるようにする。